

# 読み書きに関するゲーム「ババぬきゲーム」説明書

内容：特殊音節の入った語の絵カードと表記をマッチングする

2020.1.26

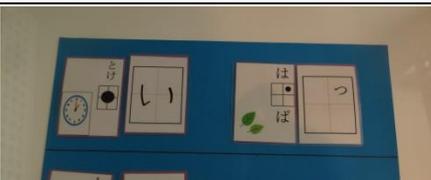
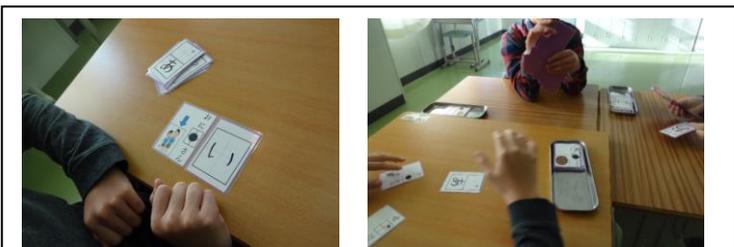
北海道室蘭養護学校 野呂 絢子

## 【ねらい】

- ①特殊音節の入ったことばに関心を持ち、語彙を増やす。
- ②●の部分に入る文字を、小さい「つ」、伸ばす音「あ、い、う、え、お」、小さい「や、ゆ、よ」、「○ゅう」「○ょう」から選んで組み合わせることができる。
- ③ルールを守ってゲームを進めることができる。

【所要時間】15分～20分

## 【準備物】

ババぬき用カード		PDF「ババぬきゲーム用カード（小）」を裏が透けない A4 用紙に印刷し、枠内に平仮名を書いてからラミネート加工して切る。もしくはトランプサイズに切った色紙と印刷した紙を一緒にラミネート加工して切る。
魔法のシート		視覚支援（構造化）が必要な児童生徒に対して用意する。色の濃い色画用紙を机に乗るサイズにし、必要に応じて枠線を書く。
トレイ		視覚支援（構造化）が必要な児童生徒に対して用意する。ペアを作ったら、トレイに入れて行く。 

## 【やり方】

- ①4人一組で、ババぬきをすることを伝え、机を合わせるよう指示する。
- ②机の上には魔法のシートとトレイだけと伝える。
- ③文字カードと絵カードを混ぜ合わせ、トランプの要領で配る。
- ④児童生徒はペアを作って机（魔法のシート）の上に並べる。教師はペアが正しいかチェックする。
- ⑤できたペアはトレイの中に重ねて入れる。
- ⑥残りの札でババぬきをする。（※相手のカードを見ようとするなどルールを守れなかったらイエローカード、レッドカードを提示し、ルールを明確に伝える。）
- ⑦ババが残った児童生徒が「ラッキーボーイ（ガール）」として皆の前でちょっとかわった早口言葉を読む。

## 【評価】

- ①カードをマッチングさせることができたか。
- ②ルールを守ってゲームできたか。

※このデータは学習指導のために使い商用利用はできません。

※データの中のイラストの著作権は「かわいいフリー素材いらすとや」運営者の三船たかし氏に帰属します。